

# こころのはな



## 5年生 「折れたタワー」 ～広い心～

給食当番の日にマスクを忘れた「ひろし」が、同じクラスの「のりお」に怒られるところから話が始まります。ひろしが謝っても「のりお」の怒りはおさまりません。なんとかクラスメイトが「のりお」をなだめ、ひろしは落ち込んだまま給食を食べます。

数日後の掃除の時間。ごみを集めていた「のりお」のほうきの柄が、教室に飾ってあったひろしの作品に当たり、壊してしまいます。ひろしにとっては何時間もかかって作った自信作のタワーでした。数日前のくやしい思いがよみがえってきましたが、うつむいて謝る「のりお」の姿に、あの日の自分を重ね、のりおを許すことにしました。

授業の始めに子ども達に「みんなにとって『許せること』と『許せないこと』って、どんなことですか？」とたずねました。兄弟間のケンカのことや、大切にあってあった物が食べられてしまったときのことなど、たくさんのエピソードを話してくれました。それをうけて、「この『許せないこと』は、どうして許せないのかな？」と問いかけると、だまって考え込む子ども達が多かったです。自分が許せないと言ったことでも、その理由について改めて考える機会がなかったからかもしれません。

みんなで話のストーリーを見ていながら、その時の登場人物の気持ちを考えていきました。「最後にひろしが「のりお」を許したのはどうしてか？」と問いかけることで『わざとじゃない』『だれにでも失敗はある』『おたがい様』というキーワードが出て、子ども達は『広い心』について考えを深めたようでした。



### 学習の振り返りから

友だちのことを認め、理解し、思いやりをもって接することは、人間関係を築いていくためにはとても大切だと思います。常に『おたがい様』の心で学校生活を送ってほしいです。

☆児童の振り返りより☆

- 『広い心』で人を許すことは大切なことだと思いました。許さないと自分も相手も嫌な気持ちのままだし、良いことなんてないと思ったからです。
- わざとじゃないなら許していこうと思いました。自分も同じようなことをしてしまったときに、許してほしいと思うからです。
- 人はだれでも助けたり助けてもらったりしているから、『おたがい様』だと思います。